

プラン名 既習を生かして問題を解き対話!! (㊦65%)

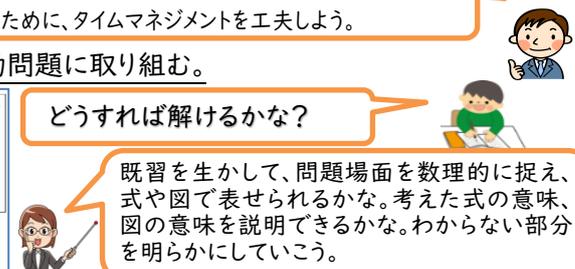
12か条+(プラス)
2条
6条

1 授業づくり

(1) 現状・課題 (R)

課題	現状 (科学的データ)			
・問題場面を数理的に捉え式にしたり、図から式、式から図を説明したりすることに難しさを抱えている。 ・情報過多の問題においては、必要な情報を抜き出して解答できる児童はわずかである。 ・普段の授業において、わからないことを話し合わずに理解しないまま学習を終える児童がいる。	令和2年度 前期学力向上プラン			
	活用力問題	1年 % 2年 % 3年 % 4年 % 5年 % 6年 %	※情報の取捨選択、演算決定に困難がある。	平均正答率 %
	適用問題 正答率	研究授業 (原勤問題) では、課題把握に時間がかかり適用問題ができなかった。		正答率 %
	塾則5タイム	児童同士で伝え合う力の育成が必要	話す割合 指導者: 児童=1:1.5	
	令和2年度全国・県・町の学力調査 (算数科) ※8月末実施			
	全国 (6年)	3(2) 図を基に、異分母の分数の加法について説明する問題		%
	町 (5年)	3(3) a, ha の正しい関係を選ぶ問題		%
		7(3) 展開図から正しい箱を選び、理由の説明を補う問題		%
	県 (4年)	2(4) 三角形の定義を答える問題		%
	[要因]			
▲課題の把握に時間がかかり、適用問題、振り返りを行う時間が足りない。 ▲図を基に式に表したり、式から図や数量関係を読み取ったりすることが難しい。 ▲わからない内容を児童だけで解決していこうとする力が不十分である。				

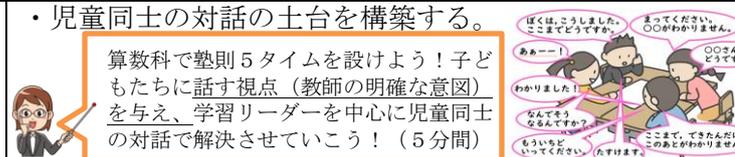
(2) 計画と実行 (P・D)

中期目標	具体的取組										
①日々の実践 児童が考え、説明し、学びを振り返ることができる。 ②単元末の実践 日常の事象に関わる未知の問題でも、既習を生かして数理的に捉えることができる。	①題意の把握を7分間で行う。 題意の把握=【問題確認】+【課題把握】+【見通し】 ※3つを必ず行う! 塾則5タイムや子どもたちのわからない部分を明らかにしていくための説明の時間、適用問題や振り返りの時間を確保するために、タイムマネジメントを工夫しよう。 ②単元末に生活に関わる原勤問題に取り組む。  <p>鶴川湾で、アンモナイトの化石がどのぐらい採れるかを調べました。この化石がいるのは右の平行四辺形の範囲です。この平行四辺形の中で、1辺2mの正方形の部分A、B、C、Dで化石の個数を調べると表のようになりました。この平行四辺形にいる化石はおよそ何個ですか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数(個)</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>どうすれば解けるかな? 既習を生かして、問題場面を数理的に捉え、式や図で表せられるかな。考えた式の意味、図の意味を説明できるかな。わからない部分を明らかにしていこう。</p>	場所	A	B	C	D	個数(個)	12	15	13	16
場所	A	B	C	D							
個数(個)	12	15	13	16							
評価項目		評価 (結果)									
・参観シート (研究授業)	①題意の把握 (7分間) ②塾則5タイム 児童1人1回以上発言 (該当する反応の言葉含む) ③適用問題正答率 (80%以上)	(○・×) (○・×) (%)									
・原勤問題取組	単元末原勤問題取組4単元以上	(%)									
・活用力問題	各学年正答率 65% (10月、12月)	(%)									
・児童アンケート	I 「自分の考えを伝えている」 肯定回答 90% (11月)	(%)									
	II 「学びを生活に生かしている」 肯定回答 85% (11月)	(%)									

(3) 検証と改善策 (C・A)

月	評価項目 (誰が、いつ)	結果	改善策
9	□算数科振り返り記入【指導改善第3週】		
10	□参観シート①②③【1年研究授業】	① ② : ③ %	
	□活用力問題【検証 第4週】	㊦ % ㊧ %	
11	□参観シート①②③【3年研究授業】	① ② : ③ %	
	□児童アンケート【検証 第4週】	I % II %	
12	□参観シート①②③【2年研究授業】	① ② : ③ %	
	□活用力問題【検証 第2週】	㊦ % ㊧ %	
	□原勤問題取組【検証 第3週までに】	原勤取組 ○・×	

2 基盤づくり

中期目標	具体的取組	評価
児童同士で学び合う意識を高めよう。 【目標の割合】 児童1人1回発言 (該当する反応の言葉含む)	・児童同士の対話の土台を構築する。 算数科で塾則5タイムを設けよう! 子どもたちに話す視点 (教師の明確な意図) を与え、学習リーダーを中心に児童同士の対話で解決させていこう! (5分間) 	10月 ○・▲ 11月 ○・▲ 12月 ○・▲